

1. 授業の概要(ねらい)

発達には、その研究スタイル、研究者ごとにさまざまなとらえ方がされている。その中でも、生涯発達とは、身体がおおきくなったりその働きが変化したり、といった誕生から死までの時間の経過の中で生ずる心身の形態・機能の変化というとらえ方をいう。ここでは、第一に、認知、言語、社会性といった各領域での質的・量的な変化について、研究成果をまじえながら基本を習得する。次に、それらをふまえた上で、発達の支援がより必要な対象について、発達臨床の現場や専門家とはどのようなものなのかについても、理解を深めることを目的とする。

2. 授業の到達目標

自ら関心を抱いたテーマについて、主体的に調べ、自分の意見・考えをまとめて発表する力、自分の意見を述べ、他者の意見をきき、より深く関連づけて理解する力を養うことをめざす。

3. 成績評価の方法および基準

授業内の発表とディスカッションによって総合評価を行う。

4. 教科書・参考文献

教科書

授業開始日に指定する

参考文献

授業開始日に指定する

5. 準備学修の内容

関連のテーマについて自ら主体的に文献を調べ、深く読み、理解をしたうえで、レジュメを作成し、プレゼンテーションに臨むことが求められる。

6. その他履修上の注意事項

授業の進行状況によって、授業計画には若干の変更がありうる。

※授業においては、他受講者に迷惑をかけることはおこなわないこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 発表担当・レジュメについて
- 【第3回】 文献等検索のしかた/グループ作業などをおこなう
- 【第4回】 知覚・認知と言語・コミュニケーションの発達を学ぶ
- 【第5回】 運動の発達と感情の発達について理解を深める
- 【第6回】 気質・性格の発達と遊びの発達についての学ぶ
- 【第7回】 親子関係・仲間関係・兄弟関係の発達について理解を深める
- 【第8回】 青年期、成人期・高齢期の発達について学ぶ
- 【第9回】 障害と生きるということー障害とは、について理解を深める
- 【第10回】 障害と生きるということー発達障害他、について学ぶ
- 【第11回】 発達における問題(虐待、不登校等)について、学ぶ
- 【第12回】 発達臨床の現場について、学ぶ
- 【第13回】 発達臨床の現場について、理解を深める
- 【第14回】 発達臨床に携われる専門家について学ぶ
- 【第15回】 まとめ